

平成 22 年 7 月度・環境マネジメントセンター定例会議事録

1. 日時：平成 22 年 7 月 17 日（土）10 時～12 時
2. 場所：日本技術士会・葺出ビル C/D 会議室
3. 出席者：荒野喆也、岩井康行、大木久光、高堂彰二、小塚浩志、武田彰夫、福田宗宏、保坂義男、堀川裕己、渡部栄久、太田芳雄、小河誠
4. 配布資料：①6 月度定例会議事録（保坂）
②環境白書 2010/07/18 年版の概要（荒野）
③EMC 講演会（第 11 回）開催ご案内（太田）
④中防見学ツアー（太田）
⑤ミニ講演「マテリアルフローコスト（MFCA 導入事例紹介）」（武田）
5. 7 月度定例会担当：①司会進行：保坂、②記録：太田
6. 議事

(1)新入会員紹介

小河誠氏は環境・建設・総合技術監理の技術士で、シンクタンク等を経て、現在加藤商事、大学プロジェクト、大学非常勤講師である。環境関連のコンサルティングを実施しており、当センターに入会を希望された。入会申込書を提出し、入会が認められることになった。

(2)前回の議事録報告：出席者追加

(3)研修見学会について（資料④）

研修見学会として、東京都環境整備公社の「社会環境学習会 1 日コース」を実施する。
日時：2010 年 10 月 27 日（水）、参加者 10 名程度、交通費・昼食等原則として個人負担とするが、懇親会等の一部を会負担とする。

(4)EMC 講演会（第 11 回）（別添）

原案及び未確認事項の決定を下記の通り行った。

資料作成：荒野、会計：小塚、懇親会：高堂、PR（案内）：太田、パソコン準備：小塚
資料のみは千円で配布（前回資料及び今回資料必要者）

(5)分科会活動報告

①第一分科会（福田）

雑誌「資源環境対策」6 月号から海外実績等を連載開始し、吉澤、大木、藤田、渡部氏等が執筆する。雑誌は PR（配布）用として購入するが予算として約 10 万円程度である。JICA プロジェクトと連携し、現在バイオガスプロジェクトを計画中である。

②第二分科会（高堂）

土壌汚染対策法のセミナーについては、サイトアセッサー資格更新とのタイミング等を含めて、本日の分科会で対応を協議する。

③第三分科会（荒野）

新年度分のセミナーについては、細井氏から個別に依頼が予定されており、省エネ、

カーボンオフセット、LCA などである。

④第四分科会（堀川）

経営分析からの中小企業支援策をまとめている。

⑤第五分科会（武田）

休会中

7. 情報提供（荒野）

環境白書2010年版の概要について説明があった。

8. ミニ講演

演題：「MCFC 導入事例 マテリアルフローコスト会計でできる経営革新」

武田 彰夫

9. その他

EMC(環境マネジメントセンター)は長い伝統を持つプロジェクトであるが、今までの実績などを明示できる資料が集積されていない。このようなものをPR等に利用できるの、まとめる必要はないかとの提案があった。次回以降、これらをまとめるための検討を行う。

10. 今後のミニ講演題目、および講演者の予定

- ・平成22年8月：「上下水道の今昔」 講師：高堂 彰二
- ・平成22年9月 (講演会準備等のため無し)
- ・平成22年10月：「東京都の総量規制と排出権取引」 講師：岩井康行

以上

平成22年8月度・環境マネジメントセンター定例会議事録

1. 日時:平成22年8月21日(土)10時~12時
2. 場所:日本技術士会・葺出ビルC/D会議室
3. 出席者:荒野詰也、岩井康行、高堂彰二、堀川裕己、渡部栄久、太田芳雄、斉藤、森信武(計8名)
4. 配布資料:①7月度定例会議事録(太田) ②土壌汚染対策法の改正、土壌汚染調査対策の現状と今後(高堂) ③新成長戦略~「元気な日本」復活のシナリオ~(荒野)
④ミニ講演「上下水道のはなし」(高堂)
5. 8月度定例会担当:①司会進行:太田、②記録:森
6. 議事録関連
 - (1)7月度議事録が無修正で承認された。
 - (2)7月定例会議に参加された小河 誠氏より入会希望のメールを受理したこと荒野会長より報告された。渡部氏が小河氏に案内状を送付する。
 - (3)“今後、分科会の支出は分科会のみでなく定例議事会でも検討すべきであること”議決された。
7. 講演会関連
 - (1)“参加予定:現在の参加予定は20名ぐらいと想定され、再度案内、勧誘を太田氏にお願いすること”を議決した。
講演会出席再督促は、EMCメンバーの回答再確認と過去の出席者に再アプローチする。
 - (2)資料のコピー部数は40部とし、会議後有志によりコピーされた。
8. 研修見学会:参加者は8名であること、太田氏より報告された。
9. 分科会
 - (1)第一分科会(高堂)
近々キルギスの勉強会を始める。
 - (2)第二分科会(高堂)
「土壌汚染対策法の改正、土壌汚染調査対策の現状と今後」のテーマでセミナーを開催する。
日時:平成22年8月26日(木)9:30~13:00
場所:日本技術士会A会議室
参加費1000円
 - (3)第三分科会(荒野)
カーボンオフセット、LCAが予定されている。(新技術開発センター)
 - (4)第四分科会:“経営分析からの中小企業支援策”の作成を続行している。
10. 情報提供
 - (1)閣議決定された(22/6/18)新成長戦略~「元気な日本」復活のシナリオ~が荒野氏より紹介された。
11. ミニ講演
演題:「上下水道のはなし」 高堂 彰二氏
12. 今後のミニ講演の予定
9月はEMC講演会のため、10月は総会のため割愛する。
平成22年11月 「東京都の総量規制と排出権取式」 講師:岩井 康行 氏
平成22年12月 「改正化管法」 講師:藤田 忠宏 氏

以上

平成22年9月度・環境マネジメントセンター定例会議事録

1. 日時:平成22年9月18日(土)10時~12時
2. 場所:日本技術士会・葺出ビルC/D会議室
3. 出席者:荒野喆也、岩井康行、高堂彰二、堀川裕己、渡部栄久、小河 誠、森信武、保坂義男
小塚浩志、阪本三郎(計10名)
4. 配布資料:①8月度定例会議事録(森) ②2009年度予算関係資料(小塚)
③新入会員紹介資料(小河)
5. 9月度定例会担当:①司会進行:荒野、②記録:保坂
6. 議事
 - (1) 8月度議事録が無修正で承認された。
 - (2) 新入会員・休会者報告
新入会員:小河 誠氏 休会者:吉澤光男氏 両氏の入会・休会が承認された。
 - (3) 見学会 平成22年10月27日(水)に開催予定
 - (4) 年会費の改定 次年度からの会費は、年額10,000円とする。
 - (5) EMCの実績を纏めることでした承された。前阪本会長の支援により進める。
 - (6) 排出権取引関連の新テーマで分科会設立を検討する。
7. 講演会関連
 - (1) 平成22年9月18日(土) 機械会館 午後1時30分から
 - (2) 演題:「東京都の総量削減義務と省エネルギー手法」岩井康行技術士
「改正土壌汚染対策法とビジネス」保坂義男技術士
「欧州復興開発銀行でのコンサルタントの機会」大屋 峻技術士
「排出権取引制度と企業経営」小塚浩志技術士
「第2のインターネット:スマートグリッドの展開」荒野喆也技術士
 - (3) 参加者:31名
8. 総会準備(平成22年10月16日土曜日:技術士会会議室)
 - ①事業報告、事業計画(荒野) ②担当役割表作成(保坂)、会長・副会長:留任、会計:小塚、
総務:渡部、広報:保坂、通信:太田、HP:峯岸、名簿:石橋 ③分科会報告・計画、総会
当日に分科会会長から報告。 ④監査報告 以上、準備を進める事。
9. 分科会報告
 - (1) 第一分科会(高堂)
投稿記事予定;9月号・藤田氏のマケドニア体験記、10月号・渡辺氏のブルガリア体験記
 - (2) 第二分科会(高堂)
土壌汚染調査技術管理者試験対応のセミナーを開催予定。
 - (3) 第三分科会(荒野)
セミナー及び出版分科会では、テーマ等について検討中
 - (4) 第四分科会:“経営分析からの中小企業支援策”の作成を続行している。
10. ミニ講演 平成22年11月 「東京都の総量規制と排出権取式」 講師:岩井康行氏
平成22年12月 「改正化管法」 講師:藤田忠宏氏
平成23年1月 「都市鉱山レアアースのリサイクル技術」 講師:大木久光氏

平成22年10月度・環境マネジメントセンター定例会・総会議事録

1. 日時:平成22年10月16日(土)10時~12時
2. 場所:日本技術士会・葺出ビルC/D会議室
3. 出席者:荒野喆也、岩井康行、大木久光、太田芳雄、小河誠、小塚浩志、阪本三郎、武田彰夫、長友正治、福田宗弘、藤田忠宏、保坂義男、渡部榮久(計13名)
4. 配布資料:①平成22年9月度・環境マネジメントセンター定例会議事録、②第15回総会、③第15回総会総合資料(案)、④EMC平成22年度役割分担(案)、⑤EMC連絡先一覧表、⑥予算・決算報告、⑦第4分科会資料、⑧資料エビ、⑨第1分科会、⑩中防見学ツアー
5. 9月度定例会担当:①司会進行:荒野、②記録:太田
6. EMC例会
 - (1) 9月度議事録が承認された。(資料①)
 - (2) 話題提供:朝日新聞記事(エビに合板にエコラベル)として生態系保全に努めた事業者へのお墨付きを与える認証制度(ロゴマーク)についての紹介があった。(荒野)
 - (3) 見学会:平成22年10月27日(水)の開催予定報告(資料⑩)。10名の申込みをしていたが、参加者は6名の予定。会員へ再メールで案内を出す。会員へは3千円/人の研修費を補助とする。
7. 総会
 - (1) 荒野会長から2009年度の活動報告があった。(資料②)
 - (2) 荒野会長より主に2009年度の反省及び2010年度の計画等について説明があり、会員の協力要請があった。新分科会としてEMC実績編集を設けることとした。(資料③)
 - (3) 新年度の役割分担は原則として継続とすることとした(資料④)。分科会については、第1分科会(海外事業推進):福田会長、第2分科会(土壌汚染):保坂会長、第3分科会(EMC実績編集):福田or高堂会長、第4分科会(中小企業経営改善):堀川会長とし、第3分科会については福田及び高堂で調整し、次回例会で決定することとした。また、第5分科会(環境経営改善):武田会長、休会中であつたが、当面廃止とすることとした。
 - (4) 2009年度会計報告が小塚及び会計監査報告が武田からあり、承認された。また、2010年度予算(案)について小塚から説明があり、承認された(資料⑥)。年会費の改定:次年度からの会費は、通信費がほぼないため、年額10,000円とすることが承認された。
 - (5) EMC会員名簿について確認を行った。変更のある会員については石橋へ連絡し、修正を依頼することとした。(資料⑤)
 - (6) 第1分科会(福田会長):会計報告及び活動報告があり、省エネ案件等の具体化についての紹介があった。(資料⑨)
第2分科会(保坂会長):サイトアセッサー、土壌汚染調査技術者試験対応セミナー等について報告があった。
第4分科会(堀川会長):太田より2009年度活動及び今後の予定について代理報告があった。(資料⑦)
8. ミニ講演

平成22年11月	「東京都の総量規制と排出権取式」	講師:岩井康行氏
平成22年12月	「改正化管法」	講師:藤田忠宏氏
平成23年1月	「都市鉱山レアアースのリサイクル技術」	講師:大木久光氏

平成22年11月度・環境マネジメントセンター定例会議事録

(作成者；荒野喆也)

1. 日時：平成22年11月20日（土）午前10時から12時まで
2. 場所：日本技術士会荳手第二ビルCD会議室
3. 出席者：岩井康行、太田芳雄、高堂彰二、荒野喆也、小塚浩志、武田彰夫、藤田忠宏、保坂義男、堀川裕己、森 信武 特別参加：伊藤 寛、大治かな子（計12名）
4. 配布資料：①10月度定例会議事録（太田）、②研修見学会報告（太田）、③ISO50001EnMS（荒野）、④東京都環境確保条例（岩井）、⑤土壤汚染技術管理者試験対策講座（高堂）
5. 11月度定例会担当：①司会進行役：森、②記録役：荒野
6. 議事内容
 - (1) 前回の議事録チェック：修正なし
 - (2) 研修見学会：東京都の廃棄物処理の現状と東京港湾見学
東京都環境整備公社の「社会環境学習会1日コース」で好天に恵まれて、極めて有益であった。（太田）
 - (3) 分科会活動報告
 - ①第一分科会 海外事業推進（高堂会長代理）特に進展なし
 - ②第二分科会 土壤汚染対策（保阪)
 - i) 中国天津市にての四日市市協賛土壤汚染対策セミナーに講演（保阪）
 - ii) 土壤汚染技術管理者試験直前対策講座開催予定11/28（日）（NPO）
 - ③第三分科会 EMC 実績編集（高堂）前回宿題となっていた件は、分科会会長福田宗弘、会長代行高堂彰二とする。既に新技術開発センターにて情報収集開始
 - ④第四分科会 中小企業経営改善（堀川）
全体的な纏めに入り、出版化模索中
 - ⑤第五分科会 ISO50001EnMS（荒野）
来春のISO化、JIS化に備えて新分科会設立し、参加メンバー募集する。現時点では岩井、小塚、武田、伊藤、荒野で次回から関係情報持ち寄り情報収集と共有化
 - (4) 情報交換
全員ミニ情報提供を資料配布の形で協力すること。
 - i) 省エネルギーセンターでエネルギー診断員研修会（2/17-18日）参加募集
 - ii) JICA 海外業務南米ペルー省エネルギー診断業務3ヵ月駐在員募集
 - (5) 今後のミニ講演題目、および講演者の予定
 - ①平成22年12月：「改正化管法」 講師：藤田忠宏氏
 - ②平成23年1月：「都市鉱山レアアースとリサイクル技術」 講師：大木久光氏
 - ③平成23年2月：「太陽光発電と自己体験」 講師：伊藤 寛氏

以上

平成22年12月度・環境マネジメントセンター定例会議事録

(作成者； 森)

1. 日時：平成22年12月18日（土）午前10時から12時まで
2. 場所：日本技術士会葺手第二ビルCD会議室
3. 出席者：岩井康行、石橋 耀、太田芳雄、大木久光、高堂彰二、荒野喆也、小塚浩志、
武田彰夫、藤田忠宏、保坂義男、堀川裕己、森 信武、峰岸俊行、渡部栄久
特別参加：伊藤 寛、大治かな子（計16名）
4. 配布資料：①11月度定例会議事録（荒野）、②排出量取引の検討凍結（読売12/18）（太田）、③ばいじん無許可業者に委託容疑・東洋ゴム（読売12/16）（太田）、④COP16閉幕（朝日）（荒野）、⑤化管法改正について（藤田）
5. 12月度定例会担当：①司会進行役：太田、②記録役：森
6. 議事内容
 - (1) 前回の議事録チェック：修正なし
 - (2) 峰岸氏へのホームページ掲載依頼のルーティンが再確認された。
 - (3) 分科会活動報告
 - ①第一分科会 海外事業推進（高堂会長代理）
「環境資源対策」12月号に小塚氏の記事が掲載される。
12月からは中央アジア関連の記事となる。 荒野会長から出費予定を出すよう要請された。
 - ②第二分科会 土壌汚染対策
特になし
 - ③第三分科会 EMC実績編集（高堂）
高堂氏より新技術開発センターに過去のEMC関係資料の提供依頼中との報告あった。
峰岸氏よりEMCホームページで過去の成果物のほとんどは判明すると助言された。
 - ④第四分科会 中小企業経営改善（堀川）
来年2月までにまとめる予定。出版化模索中。
 - ⑤第五分科会 ISO50001EnMS（荒野）
新メンバーに石橋氏参加。今回より活動開始する。
 - (4) 情報交換
 - ①排出量取引の検討凍結（読売12/18）（太田）、
 - ②ばいじん無許可業者に委託容疑・東洋ゴム（読売12/16）（太田）、
 - ③COP16閉幕（朝日）（荒野）
 - ④レアアース中国が関税25%にアップ。（大木）
 - ⑤JICA海外業務・南米ペルー省エネルギー診断業務、駐在員応募者が決まった。
7. ミニ講演「改正化管法」 講師：藤田忠宏氏
講演とは別に「化学物質ファクトシート」（環境省）が配布された（9部）。
8. 今後のミニ講演題目、および講演者の予定
 - ① 平成23年1月：都市鉱山レアアースとリサイクル技術」講師：大木久光氏
 - ② 平成23年2月：「太陽光発電と自己体験」 講師：伊藤 寛氏
 - ③ 平成23年3月：「改正廃棄物処理法」 講師：太田芳雄氏

以上